

題字は駒井区社協会長

# おめでとうございませう 新年あけまして

## THE YEAR'S TOPICS

### 「歯と薬と介護の健康展」 を合同開催

2001年10月27日(土)

昨年10月27日(土)に、城東保健センター・城東会館において、歯科医師会、薬剤師会、城東区在宅介護支援連絡会で「歯と薬と介護の健康展」を開催しました。初めての合同展には、小さなお子さんからおとしよりまで幅広い世代の方が、家族みんなで参加され、大盛況でした。

歯科医師会は、フッ素塗布や口腔健診などのほか、「8020表彰式」を行いました。「8020運動」というのは、80歳で自分の歯を20本残そうという運動です。高齢になっても自分の歯を健康なまま維持するというのは、身体全体の健康に結びつきます。この表彰は、区民の健康への大きな啓発活動になるでしょう。

薬剤師会は、薬の相談と正しい服用方法の普及を中心に、今回は初めてビデオを使った「薬の正しい飲み方」の学習コーナーを設け、「子ども」「中年」「高齢者」と対象別に上映しました。また、喫煙の若年化が進んでいることから、「喫煙習慣からの脱出」を特集しました。

在宅介護支援連絡会は、福祉機器展や高齢者体験コーナーで参加。フッ素塗布にきたお子さんたちも、足の重りや曇りメガネを使っての高齢者体験で、おとしよりへの理解を深めました。

今回の合同開催について、まず薬剤師会会長の下間逞男先生は、「こういうイベントでは、中年の働き盛りの男性の姿があまり見られません。しかし肝臓も含め、生活習慣病でいちばん意識啓発したいのは中年世代。次回は働き盛りの男性にもたくさん来ていただける内容を」と意欲的です。

また、在宅介護支援連絡会の枝澤美津子さんは「介護は何も特別なものではなく、誰でも突然身近に起こるかもしれないことです。普段から介護が必要な方の気持ちやどんなサービスがあるのか、何と



なくでも知っている、いざというとき全然違います。こういうイベントでは、普段あまり介護に関心のない、若い世代の方たちにも気軽に参加していただけます」と合同展の効果の大きさを語ります。

歯科医師会会長の藤崎卓志先生も「このイベントを「城東区民の健康を考える日」として、皆さんの年中行事に組み込んでいただければと思います。どこまでが予防でどこまでが治療か、また、どこからが介護かなど、同じ人間が対象なのですから、そもそも分けて考えること自体が難しいはず。将来はもっと健康に関するいろいろな団体にも協力していただき、心の相談コーナーなども含め、区民の健康と身体と生活を考えるトータルな大イベントにしていきたい」と抱負を語っていただきました。

区民の皆さんも、この「健康展」をきっかけに、身近な医院や薬局、在宅介護支援センターと「ちょっとしたことでも相談できる関係」を築いておきませんか？



### 安心して生活できるまちに

社会福祉法人 大阪市城東区社会福祉協議会会長  
駒井信義

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日ごろは、当区社会福祉協議会の諸事業に対し、温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、我が国を取り巻く環境は、少子・高齢・核家族化などの進展にともない、さまざまな福祉課題を生み出しているなか、「与えられる福祉」から「選択する福祉」をめざし、介護保険制度や社会福祉法の成立など、戦後50年ぶりの抜本的な改革が進められております。大阪市においても、「大阪市高齢者保健福祉計画」に基づく施策の積極的な推進をはじめ、「障害者プラン」や「児童育成計画」などを踏まえたさまざまな取り組みが引き続き予定されています。

当区社会福祉協議会におきましても、これからの課題を踏まえながら、区民の皆様が安心して生活できるよう、微力ながらも努力してまいります。どうか引き続き、一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



### 人にやさしい温もりのあるまちに

城東区長 藤井義信

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、ご家族ともどもお健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素は、市政・区政の各般にわたり、格別のお力添えを賜り、厚くお礼を申し上げます。

近年、世界に例を見ない速さで進行する少子高齢化をはじめ、国際化や情報化など、社会福祉を取り巻く環境は大きく変化し、福祉ニーズはますます増大し、多様化、複雑化してまいっております。

こうした新たな時代に対応するため、平成12年4月に介護保険制度が実施され、また同年6月、社会福祉事業法を大きく改正した社会福祉法が誕生し、以前にも増して、社会福祉の充実や活性化、また地域福祉の推進が求められています。

城東区では、「人にやさしい温もりのあるまち」「住んで良かったと思える城東区」「おとしよりから子どもまで安心して生き生き暮らせるまち」づくりに、全力を尽くしてまいりますので、今後とも、皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、ご健勝、ご多幸を祈念いたしまして新年の挨拶といたします。

監事  
評議員

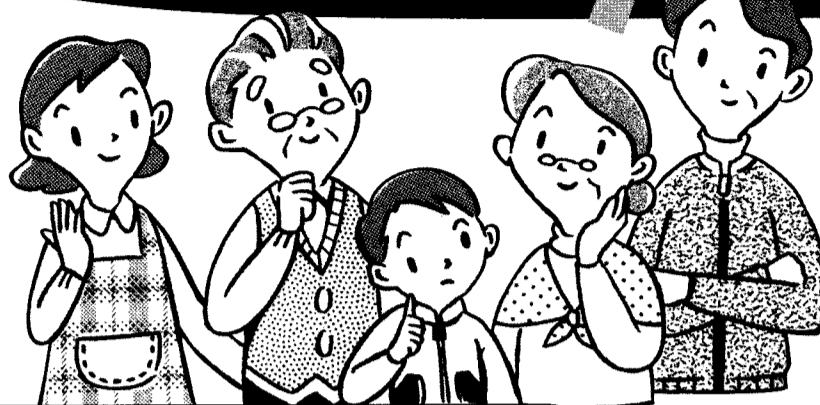
常務理事  
理事

副会長  
会長

役員一同

- 吉野博昌 (順不同)
- 吉田典男
- 行田一典
- 山口米子
- 山内嘉一
- 森田忠恵
- 森下朝子
- 福井俊文
- 深井隆一
- 東野正次
- 畑本利昭
- 橋本頼明
- 沼野智至
- 新野正章
- 二井信彌
- 永田信孝
- 中道美子
- 中村英雄
- 中橋紀司
- 中井喜代夫
- 提下誠一
- 塚本廣
- 高橋克治
- 高橋英治
- 末廣雄也
- 清水成久
- 嶋上吉久
- 塩見利和
- 貞利政一
- 駒井信義
- 小野種美
- 奥野皖司
- 奥野久夫
- 梅田晋次郎
- 上西孝夫
- 岩永規二
- 伊東允二
- 板谷一夫
- 碓本正逸
- 辻本榮三郎
- 宮地英一
- 藤川好種
- 松岡正宏
- 濱本嘉子
- 東海廣吉
- 出海口隆夫
- 墨村武司
- 河村明治
- 奥井清之
- 井上之弘
- 後藤義弘
- 辻佐一
- 勝田重春
- 吉田定信
- 駒井信義

# 「在宅介護支援センター」って、 どんなところ？ 何してんの？



## どんなこと、やってるの？

### 在宅介護に関する さまざまな相談を 受け付けます

- 介護を受ける方、支える方の悩みや相談に対し、状況に応じたアドバイスや情報提供を行います。
- 介護保険制度に関する説明や援助を行います。必要に応じて、ケアマネージャーへの連絡調整も行っています。



大阪市では、おとしよりとご家族の方などから、保健・福祉に関するさまざまな相談を受けたり、各種のサービスを総合的に提供しようと、在宅介護支援センターの設置を進めています。城東区では、区在宅サービスセンター「ゆうゆう」をはじめ、4カ所の地域在宅サービスステーションがあり、この5施設で城東区在宅介護支援連絡会を結成して、互いに連携、協力しながら、福祉のまちづくりを進めています。今号は、この在宅介護支援センターについて、ご紹介しましょう。

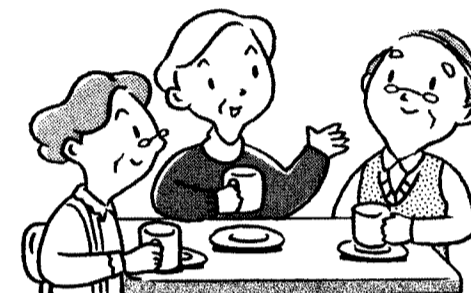
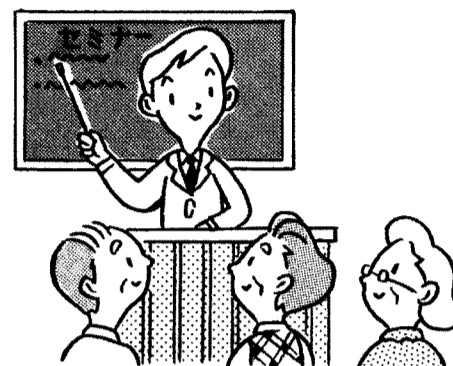
### 福祉用具(介護用品)の 展示・紹介や、 住宅改修についての 相談を受け付けます

- 電動ベッドや車いすなど、福祉用具の選び方や使用方法をアドバイスします。
- トイレや階段の手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修に関する相談を受け付けます。



### 学校や地域で、 高齢者についての理解を深める 活動を行います

- 福祉機器展や福祉セミナーを開催したり、小・中学校の福祉教育の支援をしています。
- 各地区のネットワーク委員会と連携を取って、保健・医療・福祉に関する相談や関係機関との手続きがスムーズに行えるよう支援しています。



### 要介護状態でない方の 日常生活の支援や、 保健・福祉に関する サービスについて 相談や申請の代行を行います。

- 転倒事故や閉じこもりを防ぎ、要介護状態にならないよう日常生活のあらゆる相談を受けつけます。
- 緊急通報システムや日常生活用具の給付など、介護保険以外の福祉サービスや健康相談などについて、区役所や保健センターと連携して、情報提供や連絡調整を行います。



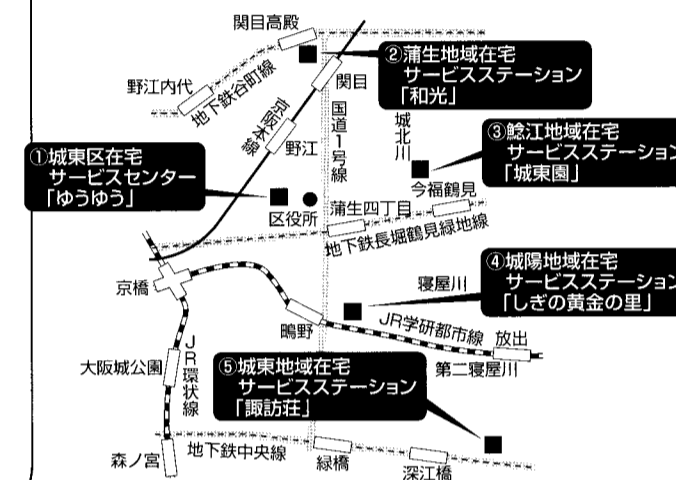
### 生きがいがづくりの 支援を行います

- 高齢者が生きがいを得るための助言や、ボランティア活動や趣味に関するサークルの紹介などを行います。

## どこに、あるの？

城東区内の5つの在宅介護支援センターは、下記の通りです。

- ①城東区在宅サービスセンター「ゆうゆう」  
中央2-11-16 ☎6936-1133
- ②蒲生地域在宅サービスステーション「和光」  
成育5-22-16 ☎6935-0577
- ③鯉江地域在宅サービスステーション「城東園」  
今福東2-2-25 ☎6931-3825
- ④城陽地域在宅サービスステーション「しぎの黄金の里」  
鴨野東2-26-12 ☎6963-5551
- ⑤城東地域在宅サービスステーション「諏訪荘」  
諏訪4-12-28 ☎6964-0051



## 同じまちで、 すぐそばで

ボランティアビューローだより  
TEL 6936-1138 FAX 6935-8737

### 区内のボランティアグループが 「総合的な学習の時間」に協力しています



大阪市立成育小学校で、平成13年10月15日から30日まで、3年生85人を対象に「総合的な学習の時間」として福祉教育を実施されました。児童たちが、アイマスクか車いすか、自分の関心のある方を選んで疑似体験を行うもので、体験の後、子どもたち自身でさらに調査・学習をし、その成果は日曜参観でも発表されました。

今回の学習に際しては、城東区ボランティアビューローに登録しているボランティアグループに協力

いただきました。視覚障害者の疑似体験を行ったグループには、点訳グループ「てんとうむし」の皆さんが点字を、また、手話グループには、手話サークル「つちのこ」の皆さんにお手伝いいただきました。子どもたちは点字のしくみなどにも関心を示して、ボランティアの皆さんの説明にも熱が入ったようです。

### 今日からできる、 ボランティアを始めませんか。

ボランティア活動には、必ずしも何か特技や技術がなければならぬわけではありません。ちょっとした時間を活かして、今日からできることもたくさんあります。資格や年齢は一切問いません。お気軽にお問い合わせください。

- おとしよりや障害者の通院助
- 高齢者施設でのお話や行事のお手伝い
- 子どもたちの遊び相手
- おもちゃの寄付、またはおもちゃの修理
- 障害者の生活の手助けや行事への参加
- 各施設での食卓づくりのお手伝い
- 使用済みのテレホンカードや切手の収集



### 文字だけでなく、 “絵”を点訳することの魅力に引きつけられて

城東区点訳グループ てんとうむし

城東区の図書館の点訳本コーナーに収める絵本づくりを行っているのが、城東区点訳グループ(てんとうむし)の皆さん。もともとは他の点訳グループに所属していたメンバーが、絵本の点訳にしようとした活動を行おうと、昨年1月に設立したもので、メンバーの方は「絵本だから、とっつきやすい」「作っていて楽しい」と、口々に絵本の点訳の魅力を語る。

メンバーのお一人は「一字一句間違えずに打たなければいけないのはもちろん、その上に、そこに描かれた絵が何を表現しているか、わかってもらうための工夫が求められます。それが大変な反面、楽しいところ」と話される。一冊の絵本の点訳にかかる日数は、人によってペースは違うが約2~3ヵ月。月2回(第1・3月曜日)の例会では、ベテランのメンバーの方にわからないところを教わったり、新しい情報を交換したりしている。点訳はそれぞれ家に持ち帰っての作業

だ。「手話のように、直接、絵本を利用される方と関わることは少ないのですが、図書館を通じて「おもしろかった」とか「これからもよろしく」というメッセージが届いたり、健常者の方にも広く手に取っていただくことで、総合学習の授業を依頼されるなど、多くの方に興味を持っていただけることは嬉しいことです」と代表の竹内博美さんは語る。現在、新しい仲間を募集中だとか。関心のある方はぜひ、城東区ボランティアビューローまで。



二井会長(右)と中道実行委員長

お互いに夕食の

地域の人が集まり、一杯のコーヒーを片手におしゃべりの花を咲かせる。地域の人のためのボランティアによって運営されているふれあい喫茶は、そんな憩いの場である。驚くことに、関目校下社協では、第2集会所で隔週(第1・3週)、日曜から土曜までの毎日(午前9時30分~11時30分)開いている。

関目社会福祉協議会会長の二井正彌さんは「喫茶という以上、いつ行っても開いているのが理想やっただです。今は隔週ですが、いつかは毎日に行きたいですね」と話。

それにして、半月も開店しているというのは並々ならぬことだ。それを支えるボランティアさんの存在は大きい。「女性30人が順番でお手伝いをしています。喫茶店としての雰囲気大切にしたいと購入したコーヒーカーブも一つも欠けることもなく、みんなで大切にしています。また、ボランティアの方も女性同士、お互いに夕食の



## 隔週の日曜から土曜まで「ふれあい喫茶」をオープン

関目校下社協

レシビを教え合ったりすること」とは、ふれあい喫茶事業の実行委員長、中道裕子さん。ボランティアの大切な役割だ。こうしたサロンの存在の重要性について、二井会長は「昔は隣近所のことをよく知ってたんです。最近は、あまり他人に関わりたくないという風潮ですが、ここに地域の人が集まってきて、話を交わす。そうして互いの顔を覚えることは、町が明るくなりますし、防犯にもなります」と語る。



「近所の方とおしゃべりできるのが楽しい」と多くの人が訪れる



ボランティアさんの笑顔が、雰囲気をさらに明るくしている

## 私たちの地域でも「ふれあい喫茶」をオープン中

### 放出校下社協

■場所/放出福祉会館  
■日時/第1・3日曜日(午前10時~12時)  
女性部のメンバーが中心となって運営。メニューは、コーヒーと菓子パンで、小学生以上は50円(幼児無料)。毎回、約百人ほどが訪れ、お互いに交流を深められている。



### 城東校下社協

■場所/城東福祉会館  
■日時/第1・3日曜日(午前10時~12時)  
女性会と社協役員が中心となって運営。メニューは、コーヒー・紅茶・ジュースに、パン・キャンディ・ゆで玉子がついて100円。地域のおとしよりや障害を持っている方を対象とし、車いすで来られた方にも対応できるように、1階のフロアを準備している。



### 榎立校下社協

■場所/第1木曜は榎立会館 第3木曜は榎立福祉会館  
■日時/第1・3木曜日(午後2時~4時)  
地域の中で募集して集まったボランティアが運営。メニューは、コーヒー・紅茶・ジュース・昆布茶にクッキーがついて100円。独り暮らしのおとしよりなどには声かけボランティアが誘い、身体が不自由で外出できない方もボランティアが車いすで迎えに行っている。



